

大岡の風3月



令和6年2月29日
横浜市立大岡小学校
TEL (711) 0818
FAX (713) 3563

「つなげる」～子どもたちの願いと伝統～

校長 馬渡 照代

早いもので、令和5年度も、あと1ヶ月ほどで終わりを迎えます。子どもたちは、今、どの学年も学習面や生活面でのまじめに取り組んでいます。その一環として、6年生が国会見学に行ってきました。マナーよく行動していましたが、何より未来科学館で、時間が足りなくなるほど探求し続ける姿に感心しました。残りの日々、子どもたちが1年かけて学んだことをしっかりと身に付けて、次の学年・学校に進めるよう、支援してまいります。

さて、先月本校の一大イベント「大岡文化祭」が、3年振りに以前と同じ方法で開催され、多数の保護者・地域の皆様が来校されました。子どもたちの発表を真剣に見聞きし、一緒に活動して下さったおかげで、皆、張り切って4月からの学びの成果を発表していました。

どのクラスも、展示の仕方や場の設定などがよく工夫されており、プレゼンでは、準備したということがよく分かる説得力のある話し方で聞かせる人を魅了しました。何より、1年生から6年生まで自分の言葉で分かり易く説明しており、日頃の学習の成果をしっかりと発揮することができていました。また、子どもたちがICT機器を上手に使いこなしている姿を見て、日頃から分かってはいたものの、改めて「さすが大岡っ子」と大いに感心しました。

ところで、今年の全校スローガンは、「つなげる」です。昨年のテーマは、「つながる」でしたのでたった一文字の違いですが、ここに子どもたちの強い思いが込められていました。「つながる」では、意図しなくても自然発生的に人と結びつくことができてしまう、というイメージだったので、やや消極的な感じだと子どもたちは捉えました。そこで、代表委員会で話し合い、今年は、自分が意志をもって積極的に誰か（大岡っ子はもちろん、保護者・地域・専門家の皆様）と結びつきチャレンジしていこう、そして、これをいつも意識して自分自身をレベルアップしていこう、という意味を込めて「つなげる」に決めました。ここまで深く考えられるのも、大岡っ子の良さです。文化祭もこのスローガンのもと、開催されました。

そんな中、私の前に座っていた5年生の子どもたちが、6年生の発表を見て次のような会話をしていました。「6年生の発表は、毎年すごいな。色々考えているし。去年の発表もすごかったけど、今年の3クラスもそれぞれ内容が濃くて発表もよく分かる。さすが6年生、という感じ。来年は、僕たちが6年生だ。何をするのか、今からとても楽しみだな。」

これは、多くの大岡っ子が、感じたことではないでしょうか。5年生は先輩の発表を見て感心し、「次は僕たち、私たちの番。」と思った訳ですが、他の学年の子どもたちもきっと同じことを思ったはずです。そして、上級生の発表を見た1・2年生の子どもたちは、「私たちも、あんなことをしてみたいな。」と、「総合的な学習の時間」という名前は知らなくても、「大岡の時間」に対して、益々興味・関心を高めたことと思います。

互いの素晴らしい発表を見合うことで、次の学年での「大岡の時間」への夢や期待が膨らみ、また、新たな探求へとつながります。そして、1年かけてゴールめざして、みんなで取り組んでいくのです。こんな素敵なおサイクルが、よき伝統としてこれからもずっとつながっていきます。これが大岡小のよいところであり、強みでもあると、私は思っています。

6年生は、素晴らしい発表を見せてくれただけでなく、色々な役割も果たしてリーダーシップを発揮していました。これも、5年生に「つなげる」という意味で、大きな影響を与えてくれました。気の早い話ですが、私は、今から来年の文化祭が楽しみで仕方がありません。「大岡文化祭」は、他校に誇れる、本校の特色ある活動だと、改めて感じました。

今後は、卒業式に向けて、5年生を中心に準備していきます。大黒柱として1年間大車輪の活躍をしてくれた6年生に、感謝の気持ちを伝えつつ、その日を迎えたいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には、1年間、大岡小学校の子どもたちを見守っていただくと共に、本校の教育方針にご理解とご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。これからも私たちは、子どもたちの健やかな成長のために努力を重ね、誠実に歩いていく所存です。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。